

# 履修要項

2024年度

(2019年度入学生)

三育学院大学

## 目 次

1	看護学部のめざすもの .....	1
2	看護学部の3つのポリシー .....	2
3	カリキュラムの構成 .....	4
4	看護師課程カリキュラム .....	6
5	卒業要件について .....	9
6	単位の計算方法 .....	10
7	履修登録について .....	10
8	履修登録の手引き .....	11
9	授業について .....	13
10	試験・成績について .....	14
11	4年次開講科目・担当教員一覧 .....	16

## 1. 看護学部をめざすもの

看護学部長

平野 美理香

三育学院大学看護学部は、日本におけるキリスト教の愛の宣教に使命を感じた米国人クリスチャンドクターとナースたちによって、1928年に病院に付属する看護師養成所として開設されたことに始まります。以来90余年、聖書が教えるキリストの愛を土台とし、一流の看護実践者を育成するための教育を行い、神と人々に仕え、社会の必要に応える看護職者を世に送り出してきました。

一流を目指す本学の看護教育は、一貫して全人的回復を支える看護〔ホリスティック・ナーシング(Wholistic Nursing)]を教育理念としています。全人的看護(ホリスティック・ナーシング)とは、看護を行う者とその看護を受ける対象者が、共に心と身体と霊の調和のとれた健康を目指し、知性、身体、霊性の統合体としての人間の全体的な回復と維持を支援する具体的な看護のことを意味しています。

全人的看護を実践できる一流の看護職者を育てるために、本学は以下に示す3つの柱を重視し、学生が自ら考え主体的に学修に取り組むことができるよう、多様な学修内容や方法からなるカリキュラムを構築しています。

第1は、聖書の示す神の愛を学ぶことを通して、自己と他者の価値と尊厳を認めることのできる豊かな人間性を育成する。

第2は、物事を論理的に考える思考力をはぐくみ、問題を主体的に取り組むことのできる看護専門職者を育成する。

第3は、自ら健康的な生活を実践するとともに、他者もこのような実践ができるよう支援する看護職者を育成する。

これらの教育目標をもとに、看護学部は、学生が自ら考え、主体的に学修に取り組むことができるように、多様な学修内容や方法からなるカリキュラムを構築しています。

私達を取りまく社会は、少子高齢化、医療の高度細分化、在宅医療へのシフトなど、常に変化の中にあります。時代を問わず社会が必要とするのは、変化に対応できる高い専門性を持ち、社会が変化しても変わらない価値観(生きる姿勢)を持つ看護専門職者です。本学部が大切にしている変わらない価値は、人の尊厳を大切にする豊かな人間性であり、本学のモットーDo for othersに表される「他者の徳のために」生きる姿勢です。

社会の必要に応える一流の看護職者になるためのプロセスがここ三育学院大学にあります。学生の皆さんは、主体的学修者として、履修要項をよく読み、予習復習を含め学修計画を立て、効果的な学修を進めてください。教員・職員は、全人的看護(ホリスティック・ナーシング)を実践できる一流の看護職者を育成するため、最善を尽くして皆さんをお支えします。

## 2. 教育方針

### 【ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）】

三育学院大学における教育の理念は、設立母体であるセブンスデー・アドベンチスト教団のキリスト教の精神に基づき、聖書の示すところの人間の「全人的回復」にあります。この理念のもと、神をすべての価値の源として真理を探求し、自己と他者の尊厳を重んじ、より良い社会の形成のために貢献できる看護専門職者を育成することを目的とします。その目的の実現のために、以下の能力・資質を備えている学生に学位を授与します。

1. 人間の尊厳を尊重し擁護する能力
2. 科学的根拠に基づいて、全人的看護（ホリスティック・ナーシング）を実践する能力
3. 看護専門職者としての倫理的態度
4. 看護の対象に関わる人々や保健・医療・福祉における多職種と連携・協働できる能力
5. 異文化を理解し国際看護に貢献できる能力
6. 自己の健康を管理する能力
7. 生涯を通して看護の現象について探求し自己研鑽する能力

### 【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）】

本看護学部では、ディプロマ・ポリシーの達成のために以下の方針でカリキュラムを編成します。

（教育内容）

1. 「教養教育科目」「専門基礎科目」「専門教育科目」の3科目群からカリキュラムを構築します。
2. 初年次は<看護の基盤を築く>、2年次は<専門知識を身につける>、3年次は<知識と実践をつなげる>、4年次は<看護を深化させる>ことを目標に段階的に科目を配置します。
3. 人間の尊厳を尊重し、擁護する倫理観を育成するため、キリスト教科目を各学年に配置します。
4. 本学の看護の中心的概念である「全人的看護（ホリスティック・ナーシング）」を理解し、実践する能力を育成するための講義・演習・実習科目を配置します。
5. 対象のスピリチュアルな側面を理解し、寄り添う看護が実践できる科目を配置します。
6. 地域で暮らす人々の文化・生活状況を理解し、支援する能力を育成する科目を初年次より配置します。
7. 多様な文化・価値観を理解し、世界で健康支援ができる能力を育成する語学・国際看護科目を配置します。

(教育方法)

1. 主体的に学ぶ力を身につけるために、アクティブラーニングの学修方法を取り入れます。
2. 見識を広め、学びを深めるために、少人数を活かしたグループワーク、ディベートなどを取り入れます。
3. 知識と実践をつなぐために、シミュレーション教育やロールプレイ、事例を使った演習などを取り入れます。
4. 初年次教育では、大学生としての学修方法や学修習慣を身につけるために、学修センターの活用を推奨します。
5. 全学年を通して、オフィスアワーを活用した学修の振り返りをする機会を提供します。

(学修成果の評価)

1. 科目目的・目標に到達しているか、定期試験・レポート・実習評価等から学修成果を評価します。
2. 科目ごとに授業評価アンケートを行い、授業改善、学修支援に役立てます。

#### 【アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）】

本看護学部では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、次の資質を備えている学生を求めます。

1. 人と関わることに喜びを見出すことができる人
2. 本学の目指す全人的看護\*に関心があり学ぼうという意欲のある人
3. 誠実で基本的な倫理観を備えている人
4. 自己の健康と生活習慣を管理する意識がある人
5. 探求心があり主体的に学習でき、入学前教育に積極的に取り組む意欲がある人

※全人的看護（ホリスティック・ナーシング *Wholistic Nursing*）とは：看護を行う者とその看護を受ける対象者が、ともに人間の尊厳を回復・維持し、心、身体、霊性（スピリチュアリティ）および社会性の調和のとれた健康を目指し、人間の全人的な回復を支援する具体的な看護のことです。

### 3. カリキュラムの構成

カリキュラムは、Ⅰ. 教養教育科目、Ⅱ. 専門基礎教育科目、Ⅲ. 専門教育科目の3区分で構成され、3区分の下位に16科目群107科目があります（保健師課程は17科目群 117科目）。図1カリキュラムの概念モデル、表1にカリキュラム表を掲載していますので参照してください。

#### Ⅰ. 教養教育科目（6科目群40科目で構成）

##### 《アドベンチストの信仰と生活》

人生の身近な問題を考え、語り合い、礼拝やアセンブリーでの特別講演などを通して、キリスト教を土台とした幅広い人間観を学ぶ科目群（12科目）です。

##### 《人間の理解》

看護の対象となる人々をより広く理解するために、人間やその行動を科学的かつ全人的に捉える方法の基礎を学ぶ科目群（5科目）です。

##### 《文化・社会の理解》

日本の歴史や文化・社会・経済を学ぶだけでなく、外国の歴史や文化・社会を学び、異文化に身を置くことによりグローバルに物事を考える姿勢を学ぶ科目群（8科目）です。

##### 《情報科学》

受け取った情報をもとに物事を論理的に考え、分析し、相手に伝える技術を学ぶ科目群（4科目）です。

##### 《自然の理解》

看護と関連がある自然界の諸現象を学問的に理解し、ならびに自然環境を大切にする姿勢を学ぶ科目群（4科目）です。

##### 《語学の修得》

英語や韓国語の読む力・書く力・話す力を修得するための科目群（7科目）です。

#### Ⅱ. 専門基礎教育科目（2科目群16科目で構成）

##### 《人間と健康》

人間の体と心の仕組みを理解するとともに、健康の維持増進、健康障害の原因や疾病の病態・治療について理解することを目的とする科目群（12科目）です。

##### 《健康と環境》

変動する現代社会における保健医療福祉問題をみつめ、保健医療福祉に関連する法律や制度を理解し、共に生きることを基点に、生活者としての人間に対する支援のあり方を学ぶ科目群（4科目）です。

#### Ⅲ. 専門教育科目（9科目群61科目で構成）

##### 【看護師課程】

8つの専門領域で構成されています。すべての看護領域に共通した基盤となるのは《基礎看護学》11科目です。そして、看護の対象となる人間の成長発達段階や健康レベル、生活の場の特性に応じて、《地域看護学》6科目、《成人看護学》6科目、《老年看護学》4科目、《小児看護

学》4科目、《母性看護学》4科目、《精神看護学》4科目があります。さらに、専門領域での学びを深め、また、卒業後に看護を発展させていくことができるような科目群である《看護の発展科目》12科目より構成されています。

これらの科目の中には多様な看護実践の場や基礎的な看護技術を体験する基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ、地域実習から始まり、成長発達段階や健康レベルに応じた各領域別実習、さらに4年次前期には各領域での看護の学びを統合し、より高い看護実践能力を修得する総合看護実習が行われます。この他に、本学の特徴でもあるアジアの国々で行う国際看護実習（選択科目）が3年次8月にあります。

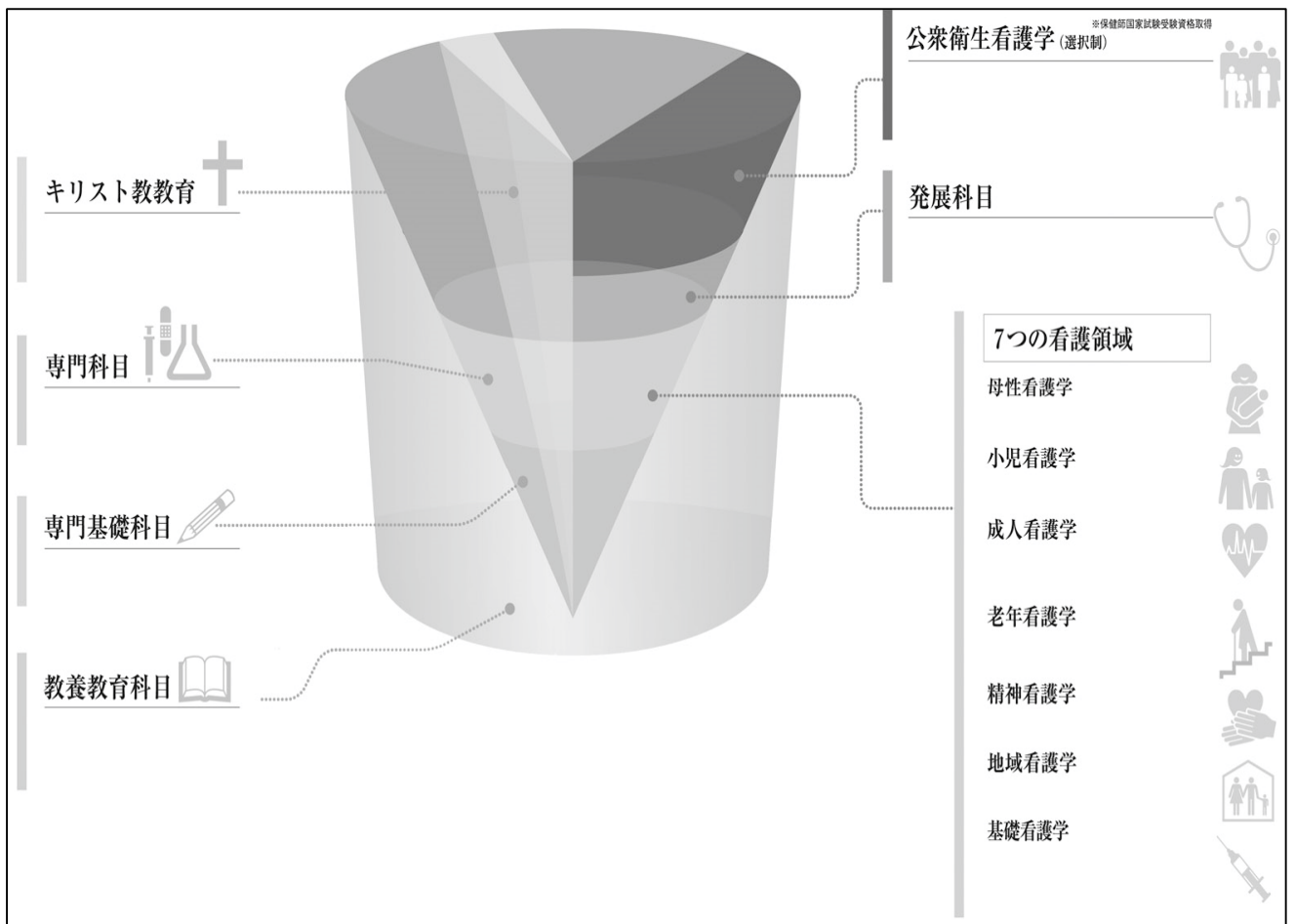


図1 カリキュラム概念モデル

#### 4. 看護師課程カリキュラム

表 1

区分	授業科目	単位数		1年		2年		3年		4年	
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
アドベンチストの信仰と生活	キリスト教概論	4		◎							
	ミストリー オブ ヒーリング		2				○				
	アセンブリー I	1		◎							
	アセンブリー II	1				◎					
	アセンブリー III	1						◎			
	アセンブリー IV	1									◎
	キリスト教倫理		2			○					
	キリスト教音楽		1	○							
	SDA教会史		2								○
	パーソナル ミストリー		2								○
	クリスチャン サービス		2								○
	現代とクリス教		2						○		
人間の理解	哲学		2	○							
	心理学		2	○							
	人間関係論	2		◎							
	教育学		2	○							
	スポーツ科学		2	○							
文化・社会の理解	社会学		2	○							
	文化人類学		2				○				
	歴史		2		○						
	経済学		2	○							
	異文化演習		1			○					
	美学		1		○						
	日本国憲法		2				○				
	ボランティア活動論		1	○							
情報科学	情報科学		2		○						
	統計学		2		○						
	論理的思考	2			◎						
	基礎学習セミナー	1		◎							
自然の理解	物理学		2		○						
	生物学		2	○							
	化学		2	○							
	生活環境論		1	○							
語学の修得	英語 I (読む)	1			◎						
	英語 II (書く)	1				◎					
	英語 III (論文講読)		1								○
	英会話 I (日常英会話)	2		◎							
	英会話 II (看護英会話)	2			◎						
	英会話 III (海外研修)		1			○					
	韓国語		1	○							



区分	授業科目	単位数		1年		2年		3年		4年		
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門基礎教育科目	人間と健康	発達心理学	2			◎						
		人体の形態と機能Ⅰ	2		◎							
		人体の形態と機能Ⅱ	2			◎						
		生化学	2		◎							
		栄養学	1			◎						
		疫学	2							◎		
		保健統計演習	2					◎				
		公衆衛生学	2				◎					
		疾病・治療学Ⅰ	1				◎					
		疾病・治療学Ⅱ	2					◎				
		疾病治療学特論	1							◎		
	薬理学	2					◎					
	環境と健康	微生物学	2			◎						
		保健医療福祉論	2					◎				
保健医療福祉行政論		3							◎			
保健医療社会学		1							◎			
専門教育科目	基礎看護学	看護学概論	2		◎							
		看護倫理	1			◎						
		看護技術概論	1		◎							
		看護技術各論Ⅰ（生活援助技術）	2			◎						
		看護技術各論Ⅱ（診療補助技術）	2					◎				
		看護技術各論Ⅲ（ヘルスアセスメント）	1					◎				
		看護技術各論Ⅳ（看護過程）	1					◎				
		看護研究の基礎	2						◎			
		健康教育論	1						◎			
		基礎看護学実習Ⅰ	1		◎							
	基礎看護学実習Ⅱ	2						◎				
	地域看護学	地域看護学概論	2			◎						
		地域看護方法論	1					◎				
		家族看護学	1					◎				
		在宅看護論	2						◎			
		地域看護学実習	1		◎							
		在宅看護論実習	2							◎		
	成人看護学	成人看護学概論	1			◎						
		成人看護方法論Ⅰ（急性期看護）	2						◎			
		成人看護方法論Ⅱ（慢性期・機能回復期看護）	2					◎				
成人看護方法論Ⅲ（終末期看護）		1						◎				
成人看護学実習Ⅰ（急性期看護）		3							◎			
成人看護学実習Ⅱ（慢性期・機能回復期看護）		3							◎			
老年看護学	老年看護学概論	1					◎					
	老年看護方法論Ⅰ（高齢者の生活と看護）	1						◎				
	老年看護方法論Ⅱ（高齢者の疾病と看護）	2						◎				
	老年看護学実習	3							◎			

区分	授業科目	単位数		1年		2年		3年		4年	
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門教育科目	小児看護学	小児看護学概論	1			◎					
	小児看護方法論Ⅰ（子供の成長・発達と看護）	1				◎					
	小児看護方法論Ⅱ（健康障害を持つ子供の看護）	2					◎				
	小児看護学実習	2						◎			
	母性看護学	母性看護学概論	1			◎					
	母性看護方法論Ⅰ（女性のライフサイクルと周産期看護）	2				◎					
	母性看護方法論Ⅱ（周産期の健康障害の看護）	1					◎				
	母性看護学実習	2						◎			
	精神看護学	精神看護学概論	1			◎					
	精神看護方法論Ⅰ（精神保健）	1				◎					
	精神看護方法論Ⅱ（精神障害を持つ人の看護）	2					◎				
	精神看護学実習	2						◎			
	看護の発展科目	国際看護論		2					○		
	国際保健医療問題		1						○		
	国際看護実習		2						○		
	医療安全管理学	1					◎				
	看護管理学		1							○	
	スピリチュアルケア	2							◎		
	看護における補完療法		1								○
	看護診断・成果・介入のリンケージ		1							○	
	災害看護学		1								○
	看護教育学		1								○
	卒業研究	4									◎
	総合看護実習	2									◎
	合計		119	58							
	卒業要件		131単位以上								

## 5 卒業要件等について

1. 本学部での卒業資格を得るためには、学則で定められた修業年限の期間在学し、卒業認定に必要な単位を取得しなければなりません。
2. 卒業認定に必要な単位数（卒業要件）は課程によって異なります。看護師課程で卒業する場合は表2に示される131単位以上を取得すると卒業が認定されます。
3. 当該年度の「開講科目一覧」（表3・4参照）から、卒業認定に必要な単位を計画的に履修しなければなりません。ただし、実習科目についての詳細、実習のグループ編成等は別に発表します。
4. 卒業した者に、卒業証書及び学士（看護学）の学位が授与されます。

### 5. 取得資格

#### 【看護師課程カリキュラム適用】表1

看護師課程カリキュラムには、看護師国家試験受験資格を得るための教育内容と単位数が、すべて含まれています。従って、本学の卒業要件を満たすと看護師国家試験受験資格が得られます。

### 6. 履修計画の留意点

- 1) 当該年度開講の科目一覧（表3・4）から、卒業認定に必要な単位を計画的に履修してください。
- 2) 修業年限期間中の同一の科目の履修は、2回までです。従って、必修科目の成績評価が2回「不可」となると卒業できません。
- 3) 実習科目の履修要件

#### 【3年次「領域別実習（在宅、成人Ⅰ・Ⅱ、老年、小児、母性、精神）」】

3年前期までの全ての必修科目単位を取得していること。

#### 【4年次「総合看護実習」】

①総合看護実習以外の全ての実習単位を取得していること。

「領域別実習（在宅、成人Ⅰ・Ⅱ、老年、小児、母性、精神）」（3年次登録科目）は、いずれの実習科目においても、成績評価が不可になった場合の再履修は当該年度では認められません。

②総合看護実習の領域で「看護管理」を選択する場合、選択科目の「看護管理学」を履修する必要があります。

### 7. 学年

3年次前期終了までに、所定の単位（1年次から3年次前期までの必修科目単位の全て）を取得していない場合は、翌年も3年次とします。（教務規定第4条）

表2 卒業要件（看護師課程）

区 分		修得すべき単位数			合計
		必修科目履修単位	計	選択科目履修単位	
教養教育 科 目	アドベンチストの 信仰と生活	8 単位	1 9 単位	2 単位以上	2 6 単位以上
	人間の理解	2 単位		5 単位以上	
	文化・社会の理解	3 単位			
	情報科学	3 単位			
	自然の理解	3 単位			
語学の修得	6 単位				
専門基礎 教育科目	人間と健康	2 1 単位	2 9 単位		2 9 単位以上
	環境と健康	8 単位			
専門教育 科 目	基礎看護学	1 6 単位	7 1 単位		7 6 単位以上
	地域看護学	9 単位			
	成人看護学	1 2 単位			
	老年看護学	7 単位			
	小児看護学	6 単位			
	母性看護学	6 単位			
	精神看護学	6 単位			
看護の発展科目	9 単位	5 単位以上			
計		1 1 9 単位		1 2 単位以上	1 3 1 単位以上

## 6 単位の計算方法

本学の教育課程は、単位制を採用しています。単位制とは、卒業要件を取得単位数で表す制度です。科目ごとに単位数が決められています。

講義・演習は、15時間～30時間の授業をもって1単位、実習は、45時間の授業をもって1単位です。（学則第9条）

## 7 履修登録について

授業科目を決めて授業を受けることを履修するといいます。授業は、勝手に自分で選んで教室に行けばよいというものではありません。決まった手続きをした上でないと授業科目の履修はできません。この手続きを「履修登録」といいます。

履修する科目（必修科目・選択科目）は、すべて自分で登録しなければなりません。履修登録を怠ると、授業に出席していても試験が受けられず、単位認定もされません。

履修登録は年度始めの指定日に必ず行ってください。一度登録した科目は、必ず受講し、試験を受けなければなりません。（教務規程第14条）

1. 卒業認定に必要な単位を、各課程のカリキュラム（表1）および「卒業要件」（表2）で確認し、計画的に履修してください。

2. 必修科目について、配当されている年次に必ず履修してください。1年次配当の必修科目を1年次で履修しないと2年次になってから2年次配当の必修科目と時間割が重なり履修できなくなります。その場合4年間で卒業認定に必要な単位が取得できなくなることがあります。
3. 選択科目について、「カリキュラムの構成」と「卒業要件」(表2)を熟読し、以下の点に留意して履修する科目を決定してください。教養教育科目の科目群「アドベンチストの信仰と生活」から、必修科目と選択科目をあわせて10単位以上を履修しなければなりません。
4. 一度単位が認定された科目の再履修はできません。
5. 同一年度内に同一科目を2度履修することはできません。

## 8 履修登録の手引

### 1. 履修方法について

授業科目は、学年ごとに開講する科目が決まっています。当該年度開講科目一覧(表3・4)から、卒業に必要な履修単位を計画的に履修しなければなりません。科目内容は、授業概要(シラバス)を参照してください。以下に、履修するときの注意点について説明します。

- 1) 授業科目には、必修科目と選択科目があります。
  - ①必修科目：必ず履修しなければなりません。開講年次で履修してください。
  - ②選択科目：自由に選んで履修できます。
- 2) 授業科目は、条件が許せば全て履修することができます。
- 3) 履修登録をしていない授業科目(未登録科目)は、単位が認められません。また、登録が間違っていた場合も単位が認められません。充分注意して下さい。
- 4) 上級の学年の授業を、下級の学年の学生は履修できません。
- 5) 同じ時限に、2つ以上の授業科目を履修することはできません。履修登録の際も、間違っ  
て同じ時限に2つ以上を登録しないよう注意して下さい。
- 6) 1年間(通年)の授業の前期または後期だけを受講しただけでは、単位は認められません。  
次の科目(実習以外)は、通年科目ですので一年(前・後期)を通して履修しなければなりません。  
必修通年科目：アセンブリーⅢ・Ⅳ、卒業研究
- 7) 履修登録した授業科目は、許可無く変更できません。
- 8) 一度単位を取得した授業科目は、再履修できません。しかし、単位を取得できなかった科目は、条件が許せば再履修できます。
- 9) 履修申請を書類で提出された際は、原則として返却しませんので必ず本人が控えを保管してください。

## 2. 履修登録についての諸注意

- 1) 卒業に必要な単位を取得することに関しての全責任は本人にあります。履修要項、配布された印刷物、掲示板の発表等に十分注意して、各々の時期に必要な手続きを行って下さい。
- 2) 前期（4月）の登録は、今年度1年分を登録しますが、後期の科目については後期初めにも変更（追加、取消）の手続きをすることができます。

## 3. 履修登録登録の手順

### 1) 学年別履修登録説明会

- (1) 学年毎に担当教員より詳しい説明を聞きます。不明な点は質問し、十分確かめて下さい。
- (2) すでに配布された印刷物に記されている事柄の訂正や、新たな発表及び大切な説明がありますので履修要綱を持参の上、全員必ず出席して下さい。
- (3) 時間及び場所は「オリエンテーションスケジュール」で確認してください。

### 2) 履修登録受付まで（事前準備）

時間割、履修要項等をよく読み、特に選択科目については、卒業要件を確認して、履修忘れ等無いように注意してください。

### 3) 履修登録受付

- (1) 申請方法：ポータルサイトを使用します。それぞれのパソコン等からアクセスしてください。

申請期間：オリエンテーションスケジュール等で案内します。

- (2) 履修登録についての教務課相談時間

各学年、学科毎に教務課での相談時間を設けます。オリエンテーションスケジュールでご確認ください。

- (3) 他学年、他学科科目の履修登録

システム上に科目が見つからない、登録できない等があった場合は教務課にご相談ください。

### 4) 履修登録確認及び履修登録変更

- (1) 履修登録を行った後は、教務課から提供される履修一覧表の用紙 及び ポータルサイトからご自分の履修科目を確認してください。この確認を怠ったため、後に不利益が発生した場合は、全て本人の責任となりますので注意して下さい。
- (2) 履修登録後、履修追加、履修取消の希望がある場合は、指定された「履修登録変更日」にポータルサイトにて変更手続きを行ってください。
- (3) 登録追加予定の科目は追加手続きを行う前でも授業に出席して下さい。この期間の授業の出欠席も回数に数えられますので、名前が呼ばれない場合は、必ず担当教員に申し出て出席を記録してもらって下さい。
- (4) 履修登録変更を行った際は、ポータルサイトからご自分の履修科目を確認し、内容に誤りがないか確認して下さい。

#### 4. こんな時は教務・学生課へ

次のような時には、遠慮なく教務課においで下さい。

- 1) 履修科目、単位、成績、卒業等についての質問がある時
- 2) 他大学等で取得した単位の認定をしてもらいたい時 [単位取得証明書、認定希望科目の授業内容(シラバス)が必要です。]
- 3) 休学、退学をしたい時
- 4) 学生証を紛失した時
- 5) 追試験、再試験を受ける時
- 6) 次のような証明書を発行してもらいたい時
  - 在学証明書
  - 在学居住証明書(寮生のみ)
  - 卒業見込証明書
  - 学生運賃割引証(学割)
  - 通学証明書(通学定期券購入のため)
  - 成績証明書
- 7) 住所変更その他、自分や家族に一身上の変更があった時
- 8) 忌引、公欠等の届出が必要になった時
- 9) グループ活動等で教室を使用したい時
- 10) 各種レッスンの申込みまたは取消しをしたい時

## 9 授業について

### 1. 履修期間

本学では、2つの履修期間(前期・後期)に分けて、授業と試験を行い、成績評価と単位認定を行います。各科目は履修期間によって次のいずれかに該当します。

【通年科目】1年間30週にわたり履修する科目

【前期の科目】前期(4月～9月)15週にわたり履修する科目

【後期の科目】後期(10月～3月)15週にわたり履修する科目

※定期試験は履修期間に含まれません。(通常、16週目に行います。)

### 2. 授業時間

1講義は90分です。各時限の授業時間は下記の通りです。実習の場合には、実習時間が別に定められます。(バイブルウィーク中は変則的になります)

時 限	時 間
1時限	8:50～10:20
2時限	10:30～12:00
3時限	12:50～14:20
4時限	14:30～16:00
5時限	16:10～17:40

### 3. 休講

担当の教員がやむを得ない理由で授業を休講することがあります。連絡が入り次第、三育メール、Google Classroomなどでお知らせします。

また、休講の連絡がなく、授業開始から20分経過しても開講されない場合は、教務・学生課に連絡して指示をもらってください。

## 10 試験・成績について

履修した科目の単位認定は、試験の結果、その科目が合格と認定された場合に所定の単位が与えられます。

### 1. 試験の種類

- 1) 定期試験 前期・後期の各学期末に期日を決めて行う試験
- 2) 追試験 病気その他やむを得ない理由で試験に欠席した者に対して行う試験
- 3) 再試験 定期試験等で保留（合格点に達しなかった）となった場合に行う試験

### 2. 受験資格

受験資格は次の通りです。受験資格のない者が試験を受けても無効となり、単位が与えられません。

- 1) 履修登録をしていること。
- 2) 所定の授業時間数の4分の3以上出席していること。欠席時間が4分の1を超過した場合、単位取得資格を失う。
- 3) 当該学期の授業料を納入していること。
- 4) 試験方法がレポートの場合は、指定された用紙に書いて、定められた日時、指定された方法で提出しなければ受理されない。

### 3. 定期試験要項

- ①遅刻した場合、試験開始後20分までは入室・受験できる。試験開始後30分までは退室できません。ただし、監督者が別に指示した場合はそれに従ってください。
- ②教室では監督者の指示通りに着席してください。
- ③試験中机の上に置けるものは、鉛筆・シャープペンシル・消しゴム・眼鏡・アラームのついていない時計のみです。それ以外のものを置かないよう片づけてください。
- ④スマートフォン、携帯電話、時計型ウェアラブルデバイス等、通信機能のある機器は電源を切ってカバンの中にしまってください。
- ⑤目薬、ティッシュペーパー、膝掛けを使用する場合は挙手をしてください。ティッシュペーパーは、袋から出してください。ティッシュペーパーに不審な記述等がないか、確認します。ボックスティッシュは箱に文字等が記載されている可能性がありますので認めません。膝掛けなどに漢字表記、英文表示があるものは使用できません。
- ⑥試験中用事があるときは、挙手をしてその意を監督者に伝えその指示に従ってください。
- ⑦試験終了者は、机上に答案用紙を裏返して残し、直ちに退室してください。
- ⑧以下の行為を不正行為とみなし、それを行った場合、当該学期の全科目に不可の評点を与え、2週間以上の停学に付します。
  - ア. 机、掌、着衣等に書込みをすること。
  - イ. 試験中、持込みを許可されていないメモ、ノート、教科書、参考書等を参照すること。
  - ウ. 試験中、通信機器を使って、他人と情報交換をしたり、させたりすること。



- エ. 試験中、私語、他者と会話をすること。
  - オ. 試験中、みだりに座席を離れること。
  - カ. その他、上記に類する行為をすること。
- ⑨その他、試験中はすべて監督者の指示に従う。従わない場合、監督者は退場を命ずることがあります。
- ⑩上記規定は平常の試験にも準用します。

#### 4. 成績評価

##### 1) 成績評価と単位認定

教養教育科目、専門基礎教育科目および専門教育科目にかかわる試験等の評価は下記の通りです。

評 価		単位認定
100～90 点	S	合 格
89～80	A	
79～70	B	
69～60	C	
59 以下	D	不 合 格

##### 2) GPA (Grade Point Average) について

在学中の成績を積算し、総点を総単位で除した平均値を GPA といいます。在学中の全ての成績から算出した GPA を総合 GPA、単年度の成績から算出した GPA を学年 GPA と区別することもあります。区別されないで GPA と表記された場合は総合 GPA を指します。

$$\text{GPA} = \text{総点} \div \text{総単位}$$

総点 = (科目ポイント × 科目単位) を積算したもの

※科目ポイントは、S(100～90 点) の成績を 4 ポイント、A(89～80 点) の成績を 3 ポイント、B(79～70 点) の成績を 2 ポイント、C(69～60 点) の成績を 1 ポイント、D(60 点未満) の成績を 0 ポイントとします。

総単位 = 履修科目の単位数合計

〈GPA の活用〉

アドベンチスト協議会病院奨学金審査、学修指導、保健師課程選考基準等に活用されます。また、成績証明書に記載されます。

〈履修の取り下げ〉

GPA 維持のために科目履修を取り消したい場合は、その科目の授業回数 1/2 を過ぎる前に履修取消願を教務・学生課に提出しなければなりません。但し、実習には適応されません。

## 11. 開講科目・担当教員一覧

表3 3年次開講科目一覧

分野	区分	科目名	規定単位	必修・選択	本年度開講科目			教員名	備考
					単位数				
					前期	後期	後期		
専門教育科目	成人看護学	成人看護方法論Ⅲ	1	必	1			足立 光生	新カリキュラムにおける 緩和ケア看護論 1単位 スピリチュアルケア実習 1単位 を読み替える
		成人看護学実習Ⅰ	3	必		3		今野 玲子 他	新カリキュラムにおける 慢性期看護実習 2単位 回復期看護実習 2単位 急性期看護実習 2単位 の単位を読み替える
		成人看護学実習Ⅱ	3	必		3		今野 玲子 他	新カリキュラムにおける 老人福祉施設実習 1単位 緩和ケア実習 2単位 の単位を読み替える
	老年看護学	老年看護学実習	3	必		3		今野 玲子 他	新カリキュラムにおける 老人福祉施設実習 1単位 緩和ケア実習 2単位 の単位を読み替える

表4 4年次開講科目一覧

分野	区分	科目名	規定単位	必修・選択	本年度開講科目			教員名	備考
					単位数				
					前期	後期	後期		
専門教育科目	S D A の 信仰と生活	アセンブリーⅣ	1	必			1	杉 正 純	
	看護の発展 科目	卒業研究	4	必			4	今野 玲子 他	
		総合看護実習	2	必		2		松本 浩幸 他	